

ペルー クスコトウンキマユ

ダブルファーマンテーション マイクロロット



当社12年目にして待望のペルーからダイレクトトレード

俗に言う「スペシャルティコーヒー」というカテゴリーにこだわることなく、生産地や生産者、またその出会いの必然にひかれるように、コーヒー豆をそろえてきた当社。2022年のSCAJの会場で、強烈な「ひと目（性格にはひと口）惚れ」というのではなく、しみじみと深いおいしさを感じ、一気に好きになりました。思い立ったが吉日。早速ペルー大使館に相談し、農園の4代目であるシンシアさん（子育て中の女性）とのオンラインミーティングで、こちらの姿勢を伝え、彼らの思いを受けとめることで、日本へのダイレクトトレードが実現しました。

トウンキマユはケジョウノ地区、ラ・コンベンシオン郡、クスコ地方にあります。ラ・コンベンシオン郡は、クスコ地方を南北に貫くウルバンバ川の流域地域に位置しており、世界遺産マチュピチュ遺跡への玄関口となっている町も含まれています。

農園はマチュピチュから車で2時間程度。現在の農園主シンシアさんの祖父が69年前（2022年時点）に始めました。トウンキマユ自体は、30ヘクタールを有する中規模農園で、その内の12ヘクタールを利用して数年前よりスペシャルティコーヒーの栽培を行っています。元々、地域のコーヒー組合に所属していましたが、独自でスペシャルティコーヒーを拡大していくために、組合から独立をしようという意思を固め、自ら消費国とダイレクトトレードをしたいと活路を探していました。2017年に国内の品評会で受賞をしたことをきっかけに、さらに発酵過程や水洗プロセスを改善。こちらのコーヒー豆も、ダブル発酵（2度の発酵をおこなう、別名「ダブルファーマンテーション」）に取り組んでおります。

- 【生産地】TUNKIMAYU COFFEE ANEAN AMAZON COFFEE
- 【精選方法】水洗式（ウォッシュト）、ダブル発酵
- 【品種】アラビカ種（ティピカ、ブルボン）
- 【標高】1,800m～2,100m
- 【その他】SCA85点



株式会社豆乃木は、このコーヒー豆をフェアトレードで販売することによって、生産者には適正な利益の還元を、日本の皆様には美味しいコーヒーを提供し続けていきたいと願っています。

株式会社 豆乃木 Mamenoki Inc.

〒431-0211

静岡県浜松市西区舞阪町舞阪2128-2

